

平成21年第2回大仙市議会定例会

# 市 政 報 告

平成21年6月8日  
大仙市長 栗林次美

本日、平成21年第2回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、人事案件5件、条例案10件、単行案1件、補正予算案4件の合計20件のほか、本会議第3日目の6月17日に、大曲中学校屋内体育館建築工事の請負契約に関する単行案及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金に係る補正予算案について追加提案する予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

それでは、この場をお借りいたしまして、各部局ごとの主要事業の進捗状況等についてご報告させていただきますが、その前に、新型インフルエンザに関する市の対策についてご報告申し上げます。

市では、メキシコでの新型インフルエンザ発生に関する政府発表を受け、4月28日に「新型インフルエンザ情報連絡室」を総合防災室に立ち上げたほか、健康増進センター内に「大仙市発熱相談センター」を設置いたしました。

センターでは、祝祭日も含め、毎日朝8時から夜8時まで相談を受け付けており、6月1日現在で52件の相談が寄せられております。

5月1日には「大仙市新型インフルエンザ対策部」を設置いたしましたが、5月16日に神戸市で国内での感染が確認されたことを受け、対策部を「対策本部」に格上げし、県と連携を密にしながら各種対策を具体化したところであります。

市民の皆様への情報提供として、すでに発熱相談センター開設についてのチラシを全戸に配布し、6月1日号の市広報で手洗いの励行など新型インフルエンザの予防対策についてPRしたところであり、加えて、県内に感染者が発生した時点で、感染予防チラシ及び「大仙市発熱外来センター」の開所チラシを即日全戸配布できるよう準備を整えたほか、新型インフルエンザがまん延した場合の予防対策として、マスクや感染予防手袋・防護具キット・消毒液などの感染防止用品の備蓄などを行っております。

今後、市ホームページや安全安心メールなども活用しながら、市民の皆様に対する周知を図ってまいりたいと存じます。

なお、県の感染指定病院である仙北組合総合病院では、5月16日に発熱外来を設置しておりますが、万が一感染が拡大し、患者数が多数にのぼることとなった場合は、大曲体育館と西仙北スポーツセンターに順次「発熱外来センター」を設置し、医師会のご協力をいただきながら簡易検査の実施や指導を行うこととしております。

新型インフルエンザの対応につきましては、市といたしましても安全確保に努めておりますので、市民の皆様におかれましては、むやみに恐れず、冷静な行動をお願いいたします。

それでは、各部局ごとの主要事業の進捗状況等についてご報告させていただきます。

はじめに、企画部関係について申し上げます。

定額給付金事業につきましては、6月1日現在、申請者数は3万53件で、申請率は97.1%、給付額は14億776万4,000円となっております。

市では、去る5月25日付けで未申請の980世帯に対して文書を発送し、期限内の申請をお願いしたほか、広報を通じ制度の周知を図っておりますが、6月1日から6月末までの期間、申請手続きが困難な方に対し市職員が訪問して対応する予定であり、今後ともできるだけ多くの方に申請していただけるよう努めてまいります。

地域協議会につきましては、委員の任期が満了したことから、新任、再任を含め、今後4年間それぞれの地域で活動していただく委員を選出し、去る4月21日から30日にかけて開催された8地域協議会において、141名の委員の皆様へ委嘱状を交付したところであります。なお、141名のうち、31.2%に当たる44名が新任となっており、また、全体の32.6%に当たる46名が女性委員となっております。

各協議会は、新たな顔ぶれで再スタートを切りましたが、活発な意見交換により、地域に密着した議論を深めていただき、それぞれの地域の活性化につなげていただければと考えております。

第三セクターの経営改善につきましては、4月1日に協和地域の株式会社協和振興開発公社が株式会社協和リゾート管理公社を吸収合併し、「温泉四季の

湯」と「道の駅協和」を一体的に経営することとして、新たなスタートを切ったところであります。

また、西仙北ぬく森温泉ユメリアにつきましては、指定管理者の全国公募で指定された「新潟新光電機株式会社」が4月1日から経営を行っており、独自のリニューアル企画を展開するなどサービスの充実を図りながら、順調に営業を行っております。

西仙北インターチェンジにつきましては、3月19日付けでETC専用のスマートインターチェンジに転換する事業申請を国土交通大臣に提出しており、平成22年度中の供用開始に向け、東日本高速道路株式会社とともに施設整備を進めていくほか、7月からはETC車載器の購入補助制度を創設し、インターチェンジの利用率向上に努めてまいります。

国際交流につきましては、国際教養大学の留学生等と市内小中学校の児童生徒、幼稚園や保育園の未就学児による交流事業を実施するため、第1期となる5月から7月にかけて、中学校1校、小学校10校、幼稚園2園で交流を行っております。

友好交流都市である韓国唐津郡たんじんぐんとの交流につきましては、唐津郡機池市きじし綱引き行事及び東アジア大綱引き国際会議に招待を受け、「刈和野大綱引き保存会」及び「大曲の綱引き保存会」の会員並びに西仙北総合支所職員が、4月9日から13日まで訪韓し、シンポジウムで刈和野の綱引き及び大曲の綱引きを紹介してまいりました。

また、5月30日から6月6日まで唐津郡たんじんぐんバドミントンチームが北都銀行バドミントンチームとの交流のため当県を訪れ、5月30日に北都銀行主催のレセプションが開催されましたが、議長と私が出席し交流を深めております。

なお、昨年11月に大曲中学校生徒8名、引率3名を唐津郡に派遣し、湖西ほそ中学校との交流やホームステイ等を行っておりますが、本年は8月20日から24日までの5日間、湖西中学校の生徒8名と引率3名を受け入れ大曲中学校と交流を行うこととしております。

次に、市民生活部関係についてであります。

交通安全対策につきましては、「春の全国交通安全運動」期間中に、交通指

導隊や関係機関団体と連携し、早朝や夜間における巡回指導パトロールを実施したほか、4月10日の「交通事故ゼロを目指す日」には、チャイルドシートや後部座席シートベルトの着用、自転車の安全利用や飲酒運転の根絶を目指した8地域での交通指導車による巡回広報と、市内7カ所での街頭啓発による大仙市交通安全キャンペーンを実施しております。

消防につきましては、4月5日から11日までの「春の火災予防運動週間」に、各支団において防災訓練や駆け付け訓練を実施したほか、5月30日には、消防団員を主人公に家族愛や地域愛を描いた「劇団ふるさときゃらぼん」公演のミュージカルが大曲市民会館で開催され、消防団員約500名が参加しております。また、6月7日には、消防と水防技術の一層の向上と体制の強化を図る講習会を実施したところであります。

国民健康保険事業の平成20年度決算見込みにつきましては、実質収支で約2億5,000万円の黒字となり、実質単年度収支でも約1億1,600万円の黒字決算となる見込みであります。しかし、これは一般会計から国保会計へ2億円の基準外繰入があったことによるものであり、国保事業は破綻に近い財政状況となっております。

このことから、先般策定した「大仙市国民健康保険事業運営安定化計画」に示している健全化に向けた総合的な取組みを進めるために、平成21年度においても一般会計からの更なる財政支援を実施するものの、国民健康保険税については引き上げが避けられない状況であります。

税率の引き上げ幅につきましては、現在の経済情勢を勘案し、被保険者の急激な負担増にならないよう最大限の配慮をしたところであり、今次定例会に国民健康保険税条例の一部改正について上程しておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後の国民健康保険事業につきましては、運営安定化計画に基づき、国民健康保険税の収納率の向上、医療費適正化への取組み、健康づくりへの取組み等を推進することとしており、将来を見据えた国保財政の安定化を図ってまいります。

次に、ごみ問題につきましては、ごみの減量化を目的に、昨年7月から家庭ごみの処理について有料化したところでありますが、年度末までの排出量につ

いては、燃やせるごみで1万2,303トンと前年同期との比較で1,994トン、割合で13.9%の減となっております。また、燃やせないごみについても、527トンと前年同期との比較で323トン、割合で38.0%の減となっており、有料化によりごみの減量化が図られたものと認識しております。

なお、粗大ごみにつきましても、更なる減量化を目指す手段として、平成22年度から有料化することとしており、それに向けた収集体制の統一と地域住民への説明会を実施してまいります。

古紙・びん・缶等の資源ごみにつきましては、前年度並みの3,312トンが回収されたほか、再資源化の推進として昨年度から取り組んだ発泡スチロールは1,140kg、食品トレイは670kgの回収となっております。

ごみの不法投棄対策につきましては、4月6日から7日間にわたり緊急雇用対策事業として、17名の臨時職員により市内全地域で1万130kgのごみを回収したほか、テレビ等のリサイクル家電製品107台、タイヤ400本などの不法投棄物を回収しておりますが、引き続き不法投棄の未然防止と早期発見のため、2台の監視カメラの設置と不法投棄監視員による巡回パトロールの強化に努めてまいります。

なお、環境美化活動の一環として4月19日に実施した「全市一斉クリーンアップ」には、昨年より1,000人多い約1万500人の市民の方々から参加していただき、1万7,340kgのごみを回収したところであります。

また、循環型社会の構築を目的に、中仙地域で設立された「中仙天ぷら油回収ネットワーク」による家庭系廃食用油の回収につきましては、本年3月から活動を開始しているところであり、市といたしましても、これをモデルケースとして、来年度から全地域で回収ができるようにしてまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

昨年度策定の「地域福祉計画」につきましては、地域への浸透を図るため、5月から6月にかけて開催されている地区民生児童委員協議会で、計画の概要について説明しております。

また、「大仙市地域防災計画」の中で示されている「災害時要援護者の安全確保に関する計画」を具体化するため、高齢者・障害者等の災害時要援護者に

対する支援整備を図るマニュアルとして「災害時要援護者避難支援プラン」の年度内策定に向けて、庁内等関係部署による策定委員会を設け、具体的な検討に入っております。

子育て支援につきましては、「大仙市次世代育成支援行動計画」の前期行動計画が本年度末で計画期間が終了することから、後期計画の策定に向けて市内在住の就学前児童と小学校低学年の子どものいる世帯を対象に、子育てにおける課題やニーズなどのアンケート調査を実施したところであり、現在調査の集計と分析作業を行っております。

高齢者福祉につきましては、西仙北地域の社会福祉法人柏仁会とウォームハートにおいて、現在30床である特別養護老人ホームの入所定員を、それぞれ50床と60床に増床する計画について、本年3月に県の補助金交付決定通知を受け、8月末までに工事着工し、本年度内の竣工を目指していると伺っております。完成後は、入所待機者の緩和が図られることから、市としてもこの施設整備に対する財政支援を行うため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

社会福祉施設等の法人化につきましては、4月に特別養護老人ホーム「桜寿苑」を大仙ふくし会に、「おおた保育園」及び「船岡保育園」を大空大仙に移譲し、順調に運営されております。

次に、農林商工部関係についてであります。

水田の春作業につきましては、天候に恵まれたことから順調に進み、耕起作業は4月29日で終了し、田植え作業は5月27日には終期となっております。また、直播栽培の播種作業は、5月11日から始まり、平年並みの5月20日に終了しております。

米の生産調整につきましては、平成21年産米の需要量に関する情報によりますと、前年より1,687トン少ない6万8,953トン、114万9,000俵余りで、5月末までに生産調整実施計画を取りまとめ、6月中旬から全市一斉に転作現地確認事務に入ることにしております。

また、国の平成20年度補正で予算措置された水田最大活用推進緊急対策につきましては、4月末までに申請された6,100人の農業者に対し、10

アール当たり3,000円の水田フル活用推進交付金として総額3億3,400万円を5月1日付けで交付しております。

なお、本年3月末の認定農業者は1,488経営体であり、農業法人が43経営体、集落営農組織は71経営体となっております。

次に、3年目となる「農地・水・環境保全向上対策」につきましては、123の組織が順調に活動を展開しておりますが、本年度は5カ年事業の中間年に当たり、この対策の効果や課題等を検証することになっております。

市営放牧場の利用状況につきましては、昨年度同様、大曲、神岡、西仙北及び協和地域の4カ所において、市外からの利用13頭を含め、和牛162頭、乳牛8頭の合計170頭を放牧しております。

また、神岡地域の笹倉放牧場におきましては、本年度から3カ年計画で草地整備改良工事を計画しており、放牧牛の受入施設の充実を図ってまいります。

ハローワーク大曲管内における本年3月卒業の高校生の就職状況につきましては、就職希望者413人に対し、4月末現在の就職数が401人で、就職率は97.1%となっており、このうち県内は236人で就職者全体の58.9%、県外は165人で就職者全体の41.1%であります。

なお、就職や仕事に対する意識の高揚と早期離職の抑制を目的に、大曲・横手・湯沢の雇用開発協会の主催により、県南地区の高校3年生と県立大曲技術専門校生を対象とした職場研修事業を7月下旬から実施することとし、市内の企業に対する市の雇用助成制度の情報紹介と併せ、関係機関と連携を図りながら取り組んでおります。

大曲商工会議所及び大仙市商工会が実施主体となって実施したプレミアム付きの大仙市商品券事業につきましては、4月10日から販売を開始したところですが、好評によりわずか1週間で予定した2億円分が完売となっております。完売後も追加販売を期待する市民の皆様から多くの要望が寄せられたところであり、7月から追加販売を実施することとして、今次定例会に関連経費に係る予算の補正をお願いしております。

次に、建設部関係についてであります。

道路整備事業につきましては、平成20年度1月補正において債務負担行為



を設定した地方特定道路整備事業宮林線を2月に発注済みであり、本年度計画の市単独事業29路線については、早期に事業発注ができるよう作業を進めているところであります。

また、本年度から名称が地域活力基盤創造交付金事業となった4路線につきましては、設計業務が完了次第発注の予定であります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転につきましては、大曲中通町地区及び大花町地区の移転対象物件の各権利者と交渉中であり、交渉が整い次第、区画道路工事や宅地造成に着手してまいります。

なお、中通こ道橋新設工事につきましては、現在、ポンプ室等を施工中であります。JRに委託して施工している部分については、本年度で完了の予定であります。

「大花都市再生住宅」につきましては、環境整備工事を3月末に発注し、年度を繰り越して施工しておりますが、7月末までに整備を完了し、8月から入居を開始する予定であります。

まちづくり交付金事業につきましては、大曲駅周辺地区において、しあわせ公園造成工事及び駅東16号線舗装工事を4月下旬に発注済みであります。

また、地域交流センターにつきましては、用地買収の契約締結を終えて所有権移転登記を完了しており、造成工事の発注に向けて準備を進めております。

耐震化の推進により市民の安全確保と財産の保全を図るため、本年度から実施する予定の木造住宅耐震診断補助事業につきましては、120戸の診断に対して補助を行う計画であり、国の補助採択を得て7月頃から募集を開始し、市内の設計事務所、団体からの協力をいただきながら相談体制を整え、事業の推進を図ってまいります。

市営住宅整備につきましては、協和地域羽後境駅周辺地区の公営住宅8棟16戸及び駅東地区集会施設の建設工事については、現在、発注に向けて準備を進めており、地域住宅交付金事業の市営住宅火災報知器設置工事及び西仙北地域北ノ沢地区の2棟4戸の市営住宅建築工事については、7月中の県の交付決定を待って発注の予定であります。

昨年度からの2カ年事業で工事を進めている仙北ふれあい公園の「(仮称)新仙北体育館」建設につきましては、5月末現在の進捗率は全体の31.8%

となっており、7月下旬には屋根及び外壁工事に着手する予定であります。

また、南外ふれあいパークの総合駐車場工事につきましては、7月上旬に発注の予定であります。

公共下水道事業につきましては、継続事業となっている4地域の整備を順次発注の予定であります。なお、平成20年度末の公共下水道の整備済み面積は1,254ヘクタールで、整備率52.4%、汚水管渠延長242km、普及率は34.4%であり、水洗化戸数は7,335戸、水洗化率は62.5%となっております。

農業集落排水事業につきましては、本年度から工事着手する角間川地区を含め3地区で計画されており、順次発注の予定であります。

次に、国、県関係工事についてであります。

国道13号関連の大曲バイパス4車線化事業につきましては、旧玉川橋撤去工事が本年度中に完了の予定であり、神宮寺バイパス事業については、都市計画道路大坪線までの1.7km区間について本年度中の供用開始に向けて整備促進を図る予定と伺っております。

北檜岡地区における冬期間の歩行者安全確保として行う歩道整備工事につきましては、関係者との現地点検及び意見交換を1月に実施しており、本年度は下り側1.2kmの整備を行う予定と伺っております。

また、雄物川の大曲橋上流右岸の堤防については、堤防の質的整備工事が本年度中に完了の予定、中流部緊急対策特定区間については、事業促進のため引き続き用地補償と築堤工事を行う予定と伺っております。

角間川地区・大曲地区・神宮寺地区における「大曲の花火・カヌー等の地域観光資源と連携したかわまちづくり」につきましては、雄物川周辺の自然と舟運ゆかりの歴史施設等を結ぶ雄物川河川空間のフットパス、いわゆる散策路の整備の促進を図る予定と伺っております。

大曲橋架け替え事業につきましては、用地補償及び橋梁下部工を継続して行う予定と伺っております。

また、国道105号四ツ屋地区道路改築事業については用地補償及び歩道設計を、主要地方道湯沢雄物川大曲線の角間川工区事業については舗装工事と現

道の消雪施設の更新を、南外地域の主要地方道神岡南外東由利線と太田地域の一般県道長信田羽後長野停車場線の道路改築事業については用地補償及び改良舗装工事をそれぞれ実施する予定と伺っております。

県単河川改良事業につきましては、南外田屋村地内の楢岡川、西仙北箱井地内の大沢川の築堤工及び河道掘削と仙北高梨地内の丸子川の調査・設計を行う予定と伺っております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道事業につきましては、前倒しで発注しておりました大曲橋架け替え事業に伴う管理棟用地整備工事並びに大曲飯田町地区、川目地区、大曲浜町地区及び大曲大町地区の配水管改良工事については、5月末までにそれぞれ完了しており、他事業関連排水管移設工事については、現在、発注に向けた準備を行っております。

簡易水道事業につきましては、工事請負費に継続費を設定している西仙北地域の大沢郷地区簡易水道施設整備事業について、本年度は配水管布設工事、第2配水場建設用作業道路築造工事に着手しております。

仙北地域の戸地谷地区簡易水道施設整備事業につきましては、現在、浄水場機械設備工事、浄水場電気計装設備工事及び同外構工事について発注の準備を進めております。

次に、教育委員会関係についてであります。

学校教育の本年度の特色的な取組みとして、横堀小学校の「小学校外国語活動実践研究事業」、大曲中学校の「保健体育研究指定校事業」、内小友小学校、中仙小学校、南外西小学校及び太田東小学校の「農山漁村におけるふるさと生活体験推進事業」を推進するため、今次定例会で予算の補正をお願いしております。

また、新学習指導要領の趣旨を踏まえた市単独の指定事業として、西仙北西中学校の「キャリア・スタート・ウィーク推進事業」、市内8幼稚園の「幼稚園地域活動事業」がスタートいたしました。

さらに、異校種間連携による交流学习を一層推進するため、高校生が小学校

を訪問して英語を教える外国語活動、中学校と工業高校によるものづくりに関する授業交流、中学校と農業高校による家庭生活や米作りに関する体験的な学習活動等に継続して取り組むとともに、幼小連携や小中連携の充実を図ることができるよう各学校へ支援してまいります。

大曲中学校屋内体育館建設事業につきましては、冒頭に申しあげましたとおり、新体育館建築工事の請負契約に関する単行案を6月17日に追加提案する予定であります。新体育館建設に先立ち設置が必要な仮設柔剣道場や既存支障物件の解体除去工事等については、請負契約の締結を終え、すでに工事に着手しております。なお、仮設柔剣道場については、新体育館完成後も倉庫として活用する予定であります。

学校施設耐震診断につきましては、耐震一次診断の結果を踏まえ、優先度の高い小学校2校、中学校4校の計6校について実施した二次診断の結果、多くの施設で補強が必要であるとのことから、今次定例会に実施設計に係る予算の補正をお願いしております。なお、補強工事につきましては、9月議会で工事費に関する予算の補正をお願いし、早期に着手できるように進めてまいりたいと存じます。

次に、生涯学習の推進につきましては、子ども達が主体的に読書に親しむ習慣を身につけられるような環境づくりを推進するため、本年度末までに「大仙市子ども読書活動推進計画」を策定いたします。

また、社会教育施設で開催する各種講座、教室、スポーツ、サークル活動等を紹介する「2009・大仙市生涯学習ガイド」につきましては、5月に印刷を完了し、市内関連施設に配付しております。

市内各地域で開催する出前民謡「ふるさと民謡めぐり」につきましては、去る4月29日に大曲公演を開催し、約400名の愛好者からご来場いただいております。6月以降、各地域で順次開催してまいります。

文化財保護につきましては、池田氏庭園整備事業で進めている洋館の外壁工事が秋までに完了の予定であり、秋の公開には足場を撤去した状態で見学いただけるものと考えております。なお、本年度の池田氏庭園特別公開は、従来の6月と11月に加え、全国花火競技大会翌日の8月23日にも予定しております。

また、協和地域の奥田酒造店が5月14日に国の有形文化財に登録されましたので、今後所有者と協議のうえ、公開できるようお願いしてまいります。

このほか、文化財の普及啓蒙のため、市指定鈴木空如画「法隆寺金堂壁画模写」の公開を、10月下旬から11月上旬にかけて予定しております。

協和スキー場につきましては、仙北市から無償譲渡を受けた第2ペアーリフトの移設などのリニューアル工事を実施しており、去る4月22日に安全祈願祭が開催され、工事が進められておりますが、今後宿泊施設美山荘を休憩専用施設に改修するとともに、一部ゲレンデ拡幅工事にも着手することとしております。供用開始に当たりましては、市民の皆様はもちろん、近隣の秋田市や秋田空港からの誘客にも積極的に取り組み、安全で喜ばれるスキー場にしてまいりたいと考えております。

6月7日に開催の第5回市制施行記念駅伝競走大会につきましては、前大会より15チーム多い50チームの参加を得て、盛会裏に終了しております。

総合図書館事業につきましては、中仙地域において、既存施設を改修し図書館として4月1日から開館しております。

総合市民会館事業につきましては、唐松城能楽殿を会場とした「薪能公演」が6月6日に、また、大曲市民会館では第21回「秋田おばこ節全国大会」が6月7日にそれぞれ開催され、いずれも盛会のうちに終了しております。

最後に、平成20年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算状況につきまして、その概況を申し上げます。

一般会計は、実質収支で約8億2,000万円の黒字決算となる見込みであります。これは、暖冬による除雪経費の減少と、歳出において、一般職の職員の給料カットによる人件費の削減など経常経費の節減に努めたことなどが主な要因であります。

なお、実質収支は黒字であります。前年度からの繰越金及び財政調整基金繰入金を控除した実質単年度収支では、前年度決算に続き赤字の見込みであります。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計の事業勘定が実質収支で約2億5,000万円、実質単年度収支で約1億1,600万円の黒字決算となる見

込みであります。

また、国民健康保険事業特別会計の診療所勘定、老人保健特別会計、後期高齢者医療特別会計、学校給食事業特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、特定地域生活排水処理事業特別会計、農業集落排水事業特別会計及び各財産区特別会計は、実質収支で黒字決算となっているほか、その他の特別会計の実質収支は、ゼロとなっております。

また、企業会計では、水道事業会計が収益的収支において1億3,900万円の純利益があり、病院事業会計の収益的収支は、1,000万円の黒字決算となっております。

以上、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。招集のあいさつと諸般の報告とさせていただきます。